

## ケーブルテレビ事業者の事例 ①

# 秋田ケーブルテレビ 大規模サイバー攻撃の被害をきっかけに 最新セキュリティ導入と社内体制改革

秋田ケーブルテレビ（CNA）は3回の大規模なサイバー攻撃を受けたことをきっかけに、セキュリティ対策の実施と、サイバーセキュリティ専門組織の新設や人材育成などの組織・ガバナンス改革を実施。ケーブルテレビ業界のサイバーセキュリティの取り組みを牽引する存在となった。同社のサイバー攻撃被害の事例、サイバーセキュリティ強化の取り組みを取材した。（取材・文：渡辺 元・本誌編集長）

### 被害 ① 3日間続いた DDoS 攻撃

秋田ケーブルテレビがサイバーセキュリティ強化に取り組み始めた大きなきっかけは、2017年から3回の大規模なサイバー攻撃を受けたことだ。1回目の攻撃は、2017年11月の3日間にわたる DDoS 攻撃。同社がデータセンター事業で提供していたサービスの顧客企業に対して、IPアドレスブロックと収容機器 I/F への DDoS 攻撃被害があり、秋田ケーブルテレビのコアネットワークで

冗長機器の切り替えなどが継続発生し、インターネットサービスに影響が出た。攻撃先となった IPv4 アドレスなどに対し、上位ネットワーク機器でのフィルタ対策を施したが、送信元と攻撃先が次々と変化していったため、緊急対策措置としてキャリア側の協力を得て DDoS 検知・防御サービスを導入し、収束できた。キャリア側では最大数十 Gbps のトラフィックが発生した。株式会社秋田ケーブルテレビ IT・サイバーセキュリティ推進室室長 兼 事業創生本部 マネージャー 伊藤匠太氏は、攻撃